

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |                             |   |            |
|----------|------|--|-----------------------------|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標                          | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 6    | 徘徊をする入所者が2名。転倒の危険性や海への転落等の心配あり、玄関に施錠していたがセンサー設置で施錠なしとした。しかし、来客にも反応し頻りにセンサー音が響く為、職員の緊張が無くなり油断するのではないかと。 | 皆で安心、安全に生活できる。              | ①入り口にセンサーを設定する ②駐在所に2名の写真を渡す③かわいいネームを貼り付ける④周辺住民にも協力を求める。又、身体拘束マニュアルに施錠等の廃止、緊急時の施錠について具体的に記載し、身体拘束委員会でも確認していく。                                       | 3ヶ月        |
| 2        | 10   | 運営に関する利用者、家族等の意見を反映する事について、運営推進会議やアンケート等で積極的な意見を引き出せない。  | 利用者が満足して楽しく生活出来る。           | 運営推進会議に各地域の町内会長、民生委員、老人会長、市議員その他必要と思われる方の参加。又、利用者家族の参加を依頼し、福祉、介護、地域の困り事や施設への要望につき意見を頂く。会議の結果は家族に報告し、職員には回覧する。                                       | 6ヶ月        |
| 3        | 1    | 入所者のほとんどが腰痛や筋肉痛の為、自主的に動こうとされない事から、筋力が低下し歩行時のバランスが悪い為、転倒の危険性が高い   | 利用者が満足して楽しく生活出来る。           | 音声に合わせてリハビリ体操とタオル体操。音楽に合わせてリズム体操、メトロノームの音に合わせて、全員で行うスロー体操。散歩も楽しみの一つである。スロー体操や散歩は有酸素運動にもなっている。又、毎月レクリエーション計画書を作成。1時間程度全員で楽しんでいる。さらに個別の体操やマッサージもしている。 | 6ヶ月        |
| 4        | 35   | 火災についての避難訓練は毎月繰り返し行うが地震や台風水害等の訓練はしていない為、緊急対応は困難である   | あらゆる災害が発生しても安心できる。          | 水害、台風等の非難介助がスムーズに行えるよう日頃から訓練する必要がある。消防署に避難場所や避難時の注意事項について確認しておき、安全に確実に誘導できるようマニュアル化する。  | 6ヶ月        |
| 5        | 36   | 個人ファイル等が職員以外の目に触れることがないように保管場所を工夫しているが、個人プライバシーに関しては、馴れ合いもあり十分に配慮していなかったと思う。                           | プライバシー保護に努め入所者に不愉快な思いをさせない。 | 排泄や更衣等プライバシー保護についてマニュアルの中に具体的に掲げ個人の尊厳を守る。利用者の尊厳と権利について全職員の意識の向上のため、研修に参加していく。又、家族の情報についても情報を漏らすと事の無いようその重要性を認識し業務に当たるものとする。                         | 6ヶ月        |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。